

<学校関係者評価委員会>

委員会は学院評議員・PTA会長・PTA代表・本校卒業生から各お一人ずつ、計4名の方で構成されています。

項目	関係者委員会の意見
○進学指導について	○卒業生数が少ないわりに、国公立大学入試において、昨年と遜色のない二桁の合格者がでたことは評価できる。また、進学コースから多くの生徒が関関同立、産近甲龍に合格でき、全体に合格者が増加したこと、また、歯学部、薬学部への合格者が昨年度に比増したことは評価できる。
○募集について	○中学入試においては、定員の確保も大事であるが、入試のレベルを上げて、追手門学院のブランド力をさらに上げてほしい。なお中学入試の合格ラインを上げたことと、特待生制度導入により入学予定者の学力レベルが上がったことは評価できる。高校もレベルの高い生徒の志願者が増え、徐々に保護者や中学校での認知度があがってきている。来年度もより一層のレベルアップを図ってほしい。今後も大手前中・高の魅力をしっかりアピールし、広報活動に努めてほしい。
○生徒指導について	○遅刻者については、家庭での指導の問題でもあり、学校と家庭がしっかりと連携して改善を図ってほしい。また、生徒指導上の問題の改善については、問題行動を再度起こさないようにする対症療法での指導だけではなく、道徳の時間などでしっかりと心を育てる教育の推進をお願いしたい。これからも厳しくも温かい生徒指導を期待している。
○学校評価アンケート結果について	○大変満足している保護者と子供の将来を考え不安をもっている保護者の2極化を感じる。教員はできていると思っているが、保護者の評価が低い項目については、特に分析と改善に努めていただきたい。個々の担任に対しては一定の評価はされながらも、学年運営に対する保護者の評価が低い学年については、しっかりとした組織運営をお願いしたい。習熟度別のクラス編成については、個々の生徒に応じて効果的に学力を伸ばすことから有効であると思うが、進学コースの生徒が更に学習意欲を高めるよう、指導に努めていただきたい。
○その他、総合意見	○実行委員会や学級委員会などで、日々の教育内容、現状、課題などを保護者にしっかりと伝えていただき、保護者からの意見や要望を受け止めて、今後の教育活動に活かしてほしい。